

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名		ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
経済と経営			選択	2	2	前期
担当教員		研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
松崎 昇		教員控室	kyoumu	Teams で随時質問等受付		
授 業 の 目 的 ・ 概 要		【目的】本科目は、学生が現代日本における経済・経営的諸問題に積極的に関心を持ち、自分なりに調査・考察・発表・議論できるようになることを目的とする。 看護師を目指すみなさんにとっても、経済・経営的な感覚、社会常識、時事等は、就活時、出世時、また社会生活をおくる上でも、不可欠となる。視野を広め深めるためにもぜひ受講を勧める。 【概要】経済・経営の基本、および両者の現代日本の諸展開について学習する。 終盤の第13～15回には、Active Learningを行う。 〔①Power Point発表・質疑応答、②Debate、③Discussion〕という三形態を用意している。				
授 業 形 式 ・ 方 法		☒ 対面授業 ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 遠隔授業(自主学習)	☒ 講義 ☐ 演習 ☐ 実習 ☐ 実技	☒ PBL ☒ グループワーク ☐ その他 ()	☒ 反転授業 ☒ プレゼンテーション	☒ ディスカッション・ディベート ☐ 実習・フィールドワーク
学 習 上 の 助 言		1. 国内外の経済・経営的な諸問題に広く関心を持ち、積極的に調べ感じ考えてみること。 2. 毎回の授業で用いる Power Point を事前に up する予定である。 あらかじめ目を通しておくことを勧める。				
教 科 書		使用しない。				
参 考 書		授業中に適宜紹介する。				
外 部 教 材		特になし。				
学 生 が 達 成 す べ き 行 動 目 標					関連卒業認定・学位授与方針	
①	経済学および現代の日本経済について、基本的な事項を説明することができる。				HSU(2)(5)(6)	
②	経営学および現代の日本経営について、基本的な事項を説明することができる。				HSU(2)(5)(6)	
③	山梨経済・医療経済について関心を持ち、基本的な事項を説明することができる。				HSU(2)(5)(6)	
④	現代日本・世界における経済・経営的諸問題について、さまざまな角度から調査・考察・発表・議論できる。				HSU(4)～(6)	
授 業 計 画						
回	学習内容等		授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	科目の Guidance。 経済の仕組みを学ぶ (国内総生産、国富等)。		講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
2	産業・企業を学ぶ (産業分類、法人企業統計等)。		講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
3	就業・家計を学ぶ (失業、所得格差等)。		講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
4	金融を学ぶ (預金・債券・株式の異同、金融市場等)。		講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
5	財政を学ぶ (中央と地方、財政赤字論等)。		講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
6	対外経済関係を学ぶ (国際収支、対外純資産等)。		講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
7	経済運動を学ぶ (物価、景気、成長)。		講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
8	経営管理を学ぶ (意思決定、Leadership 等)。		講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
9	経営組織を学ぶ (組織形態、財務諸表等)。		講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
10	経営戦略を学ぶ (Marketing、Innovation 等)。		講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
11	山梨の経済・産業・企業を学ぶ (特性、大企業等)。		講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
12	医療の経済・産業・企業を学ぶ (施設、医薬業界等)。Active Learning のための Guidance		講義	課題は授業前に配信される。 授業後に取り組み提出する。		4
13	AL1：受講生による Power Point 発表・質疑応答		発表	指定課題に取り組む。		4
14	AL2：受講生による Debate		対論	指定課題に取り組む。		4
15	AL3：受講生による Discussion、まとめ		討論・講義	指定課題に取り組む。		4
試	期末 Report (達成度評価・評価のポイントを参照)					

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

達成度評価							
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		0	30	40	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	0	10	0	0	0	10
	思考・推論・創造する力	0	10	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	10	0	0	10
	発表・表現伝達する力	0	0	10	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
	問題を発見・解決する力	0	10	10	0	10	30
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①						
	②						
	③						
	④						
レポート	①	✓	期末 Report を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察の質量等に着目する。			Comment を付け、返送する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
成果発表	①	✓	受講生による【①Power Point 作成・発表・質疑応答、 ②Debate、③Discussion】を評価する。 着眼点、ならびに調査・考察・発表・発言の質量等に着目する。			Comment を付け、結果を公表する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①	✓	毎回提出する課題を評価する。 調査・考察の質量等に着目する。			Comment を付け、返送する。	
	②	✓					
	③	✓					
	④						
備 考							
他 担 当 教 員		なし					
教 員 の 実 務 経 験		なし					
実践的授業の内容		なし					
そ の 他		1. 授業は教室対面方式であるが、課題は Teams を用いて提示・回収・返却する予定である。 念のため通信容量無制限の WiFi 環境の確保を勧める。 2. 授業進度等によっては、シラバスの変更もありうる。その場合には事前に告知する。					